

静岡大学未来社会デザイン機構 小山真人先生のご退職記念シンポジウム

趣旨

静岡大学未来社会デザイン機構等では、令和6年3月で定年退職される小山真人教授のご退職記念シンポジウムを、2024年3月20日に静岡県地震防災センターで開催します。

「火山と防災」をテーマとして、静岡県及び近隣県の研究者による講演及び小山教授の最終講義を行います。

シンポジウム

13:00-14:30 第一部：シンポジウム「富士山と伊豆衝突帯の火山・自然災害研究」

講演1 伊豆弧北端部活火山の噴火史研究 小林 淳(静岡県富士山世界遺産センター)

講演2 伊豆弧北端部のマグマ研究 石橋秀巳(静岡大学理学領域)

講演3 1707年宝永噴火の噴煙挙動の精緻化研究 萬年一剛(神奈川県温泉地学研究所)

講演4 富士山ハザードマップ改訂に向けた火山研究 吉本充宏(山梨県富士山科学研究所)

講演5 伊豆衝突帯における自然災害研究 北村晃寿(静岡大学理学領域)

14:40-16:30 第二部：小山真人教授の最終講義

『学際研究にもとづく火山の理解・知識普及・防災』



小山真人先生の略歴

1959年静岡県浜松市生まれ。静岡大学理学部卒業。

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。

理学博士（地質学）。現在、静岡大学未来社会デザイン機構・教授(教育学部・防災総合センター・地域創造学環副担当)。

専門は、火山学、地質学、地震・火山防災などで、多くの国内外の雑誌に掲載された論文があり、著書には、「富士山 大自然への道案内」(岩波新書)、「富士山噴火とハザードマップー宝永噴火の16日間」(古今書院)、「ドローンで迫る伊豆半島の衝突」(岩波新書)、「伊豆の大地の物語」(静岡新聞社)など多数ある。

学外の審議会・委員会に関しては、気象庁「火山噴火予知連絡会専門委員」、一般社団法人「美しい伊豆創造センター理事」など国・自治体等の委員を務めている。また、テレビ出演や新聞寄稿等を通じて火山災害に関する教育普及に貢献している。

これらの功績が認められ、令和5年4月に文部科学大臣表彰（科学技術分野）の科学技術賞（理解増進部門）、令和5年9月に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、また令和5年5月に日本火山学会賞を受賞された。

世話人：北村晃寿(静岡大・理・防災総合センター)、
延原尊美(静岡大・教)、小林 淳(静岡県富士山世界遺産センター)